

## 大気中の放射線量モニタリング結果(平成 26 年 9 月)

市では、環境総合研究所(川崎区殿町)、中原大気測定局(中原区小杉町)及び麻生大気測定局(麻生区百合丘)で、建物屋上及び当該測定地点の地表面付近の放射線量(ガンマ線)について測定を行っており、9月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 建物屋上(連続測定)・・・約0.02～0.04マイクロシーベルト/時間で推移(9月15日現在)
- 地表面付近(月1回測定)・・・測定結果は次のとおりであり、いずれの地点、高さにおいてもほぼ同じ数値で推移

単位：マイクロシーベルト/時間

地表面からの高さ	環境総合研究所 (土・草地)	環境総合研究所 (アスファルト)	中原大気測定局 (アスファルト)	麻生大気測定局 (土・草地)
100cm・50cm・5cm	0.04～0.05	0.05	0.05～0.06	0.05

※マイクログレイ/時間で測定した値をマイクロシーベルト/時間に換算して表記しています。

※原子力規制庁によると、「緊急時は、1グレイ=1シーベルト」として換算します。

※文部科学省によると、一般的な自然界の放射線量レベルの範囲は0.03～0.1マイクロシーベルト/時間です。

なお、神奈川県が川崎市内5か所に設置しているモニタリングポスト(地上約3m)の平成21年度(福島第一原子力発電所の事故以前)の年平均値は0.023～0.042マイクロシーベルト/時間でした。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000037968.html>

問い合わせ：環境局環境対策課 TEL 200-2516 FAX 200-3922

## 浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(平成 26 年 9 月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場の敷地境界で空間放射線量(ガンマ線)の測定を行っております。また、埋立処分場の内水等の放射能濃度(放射性セシウム濃度)についても測定を行っており、9月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 埋立処分場空間放射線量(連続測定)・・・0.051～0.069マイクロシーベルト/時間で推移(9月15日現在)
- 埋立処分場の内水等・・・測定結果は次のとおり

単位：ベクレル/L

	測定値	基準等	測定頻度
埋立処分場内水	2.0～3.1 (検出下限値：1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	週2回
放流水	放流が無かったため、未測定 (検出下限値：1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	放流時
外海水	放流が無かったため、未測定 (検出下限値：1.0)		放流時

※上記掲載の測定値は、8月16日から9月15日までの期間に測定したものになります。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000045121.html>

問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923

## 化学物質と環境に関するセミナー開催のお知らせ

市では、化学物質の環境リスク低減に向けた取組の一環として、市民や事業者の皆様を対象とした化学物質と環境に関するセミナー等を、横浜市と連携して開催します。ぜひご参加ください。

- ①サイエンスカフェ 平成26年11月8日(土)14時～16時、鶴見公会堂(横浜市鶴見区豊岡町2-1)
- ②化学物質対策セミナー 11月25日(木)9時30分～15時30分、川崎市役所第4庁舎(川崎区宮本町3-3)
- ③環境リスク評価講習会 11月26日(木)10時～17時、川崎市産業振興会館(幸区堀川町66-20)

セミナーの詳細や申込方法については、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000060455.html>

問い合わせ：環境局企画指導課 TEL 200-2533 FAX 200-3922

公害病被認定者数 1,447 人  
(認定者総数 6,037 人－認定失効者数 4,590 人)  
認定失効者数 4,590 人  
(治癒等 2,065 人＋死亡者数 2,525 人)  
平成 26 年 8 月末現在(健康福祉局)

発行編集  
川崎市環境局総務部環境調整課  
電話 044 (200) 2387 (直通)  
E-mail 30kantyo@city.kawasaki.jp

